

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 シンプルエデュケーション

【サービス名称】

- ・採点システム百問繚乱 小規模校CBT連携有り
- ・採点システム百問繚乱 中規模校CBT連携有り
- ・採点システム百問繚乱 大規模校CBT連携有り

【サービスの支援項目】

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

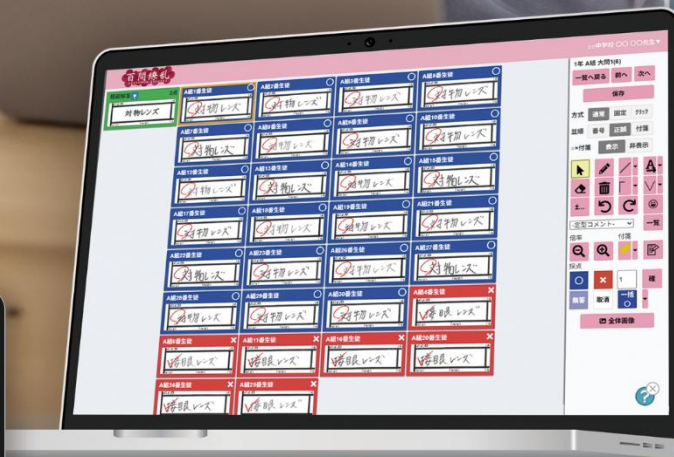
2026年1月

採点支援システム

百問繚乱

HYAKUMON-RYOURAN

テストの「あとに」、価値を。





1. サービスの概要、特徴

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

採点支援システム「百問繚乱」は、紙で実施したテストを効率よく採点し、得点を自動集計するシステムです。

採点～集計・転記にかかる作業時間※

155分 → **79.4分** 約**48.8%減**

※1クラス当たり

採点

先生方の業務負担を軽減!

集計
分析

1 模範解答を取り込み
試験情報を登録

2 児童生徒答案を取り込み
画面上で採点

3 採点結果を出力し
児童生徒へ返却
成績処理を行い完了!

採点結果を自動集計

成績処理のミス軽減

直感的に操作しやすいUI

採点業務の負担軽減

学習
支援

ペーパーレス返却機能・百問繚乱CBT連携

同じシステム内でシンプルかつ安全な結果返却を実現!



- ✓ コスト削減 (¥) ↓
- ✓ テスト返却後の復習効率向上!

授業準備や授業改善のための
事後指導に充てる時間を確保!

公立中学校・高等学校の3校に1校、約4,500校で利用
令和6年度の答案処理実績は6,000万枚以上!





■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

(3) サービスの活用場面

採点業務全般 (採点～集計～転記)

- 定期考査などの採点処理
- 集計結果の事後指導への活用
- 入試利用

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

- 本サービスの料金は、クラウド利用規模に応じた通常学級数による区分制を採用しています。年間利用料は税抜15万円を目安としておりますが、利用条件により費用は異なります。詳細は個別にご案内いたしますので、お見積りをご希望の場合はお問い合わせください。
- ライセンス料金には以下の内容が含まれます。クラウド利用料／保守費用／コールセンターサポート／定期オンライン研修
- 以下の内容については別途料金となります。定期研修以外の個別研修／電子返却機能



2. サポート内容 (サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

百問繚乱は、導入から運用定着までを一貫して支援



製品に精通したスタッフ在籍 専用コールセンター

- 利用中の不明点やトラブルについて迅速にサポート
- 問い合わせ内容は管理ツールで即時社内にて共有
- 同一自治体内の履歴や事例を参照し、的確な対応を実施



導入時の心理的ハードルを低減 充実の導入研修

- 教職員向けに初期設定・基本操作や活用方法を解説
- 導入時・運用開始後に複数日程で実施するなど柔軟に対応
- 研修内容はアーカイブとして提供



サポートメール (24時間受付)

- 時間外の返信は翌営業日となります
- 問い合わせ履歴を蓄積・分析。共通課題については周知対応や機能改善に活用



各種マニュアルを完備 操作ガイド・解説動画

- 最新版の総合操作マニュアルをシステム上に掲載
- 操作手順を視覚的に理解できる短尺動画付き操作ガイド
- 利用状況や問い合わせ内容を踏まえ、資料追加や内容刷新、研修会を随時実施

■ 学校等教育機関の課題と解決策

採点業務の課題として、答案管理や得点集計において教職員の負担が大きく、人手のみで採点の正確性を担保することには限界があると考えられます。

百問繚乱は、採点業務の効率化と正確性の向上を図るとともに、多角的な成績分析を可能にし、

教育活動を支える役割を果たしています。



児童生徒・教職員が抱える課題

- 手採点にかかる時間や集計作業などの負担が大きく、授業準備や児童生徒への支援に十分な時間を割くことが困難だった。
- 素点の転記が大変で、残業が発生していた。
- 採点ミスや採点の正確性を担保することが大きな課題となっていた。
- 採点基準のばらつきやブレが生じやすい状況だった。
- 観点別の計算に時間がかかっている。
- 答案用紙を持ち帰って採点するなど、安全面での不安や管理の煩雑さが課題だった。
- テスト返却後に答案内容を改変できてしまうため、生徒指導や確認の手間が発生していた。

サービスが果たす役割

- 自動採点・自動集計により採点業務の大幅な時間短縮が実現し、現場の業務負担軽減につながる。
- 切り出し採点機能や、採点を補助する豊富な機能により、採点基準のブレや採点ミスの低減につながる。
- 得点集計にかかる作業負担や転記ミスを大幅低減。
- 答案を持ち出す必要がないため、管理上の煩雑さがなくいつでも採点ができる。
- 多角的な視点で成績分析が容易におこなえる。
- 成績分析データを踏まえ、事後指導や授業改善につなげることが可能。
- テスト返却後の答案の書き換えが不可能になり、返却後の生徒指導業務が軽減される。



■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

百問繚乱は、安全な利用環境 & 充実のサポート体制で現場の先生方を支援します。

採点前の事前設定

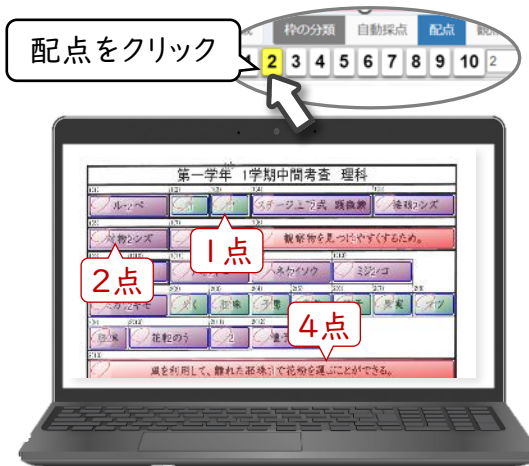
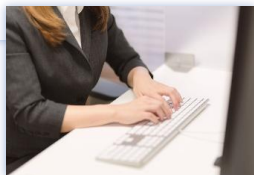
テスト実施

採点

出力・集計・分析

事後指導

事前設定は、模範解答に直接クリック&範囲選択で直感的な操作が可能。



選択肢(カタカナ・アルファベット・数字)・○×・マーク式・中学校レベルの数式・英単語の自動採点に対応。



- 添削スタンプ
- 目線固定採点
- 定型コメント登録
- 付箋メモ
- 解答のピン留め

分析結果をもとに授業改善。

個票PDFの出力



集計分析画面



ペーパーレス結果返却機能





本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	10	学校等教育機関数	28 校
--------	----	----------	------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	函館市教育委員会	函館市立本通中学校	北海道	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
2~11	浜松市教育委員会	浜松市立水窪中学校 他9校	静岡県	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
12~13	静岡市教育委員会	静岡市立豊田中学校 他1校	静岡県	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
14~17	阪南市教育委員会	阪南市立飯の峯中学校 他3校	大阪府	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
18~21	鹿児島県教育庁	鹿児島県立吹上高等学校 他3校	鹿児島県	高等学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
22	岩手県教育委員会	岩手県立一関第一高等学校附属中学校	岩手県	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
23	ひたちなか市教育委員会	ひたちなか市立勝田第二中学校	茨城県	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
24	喬木村教育委員会	喬木村立喬木中学校	長野県	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
25	坂出市教育委員会	坂出市立坂出中学校	香川県	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス
26~28	三沢市教育委員会	三沢市立第一中学校 他2校	青森県	中学校	全学年	カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス



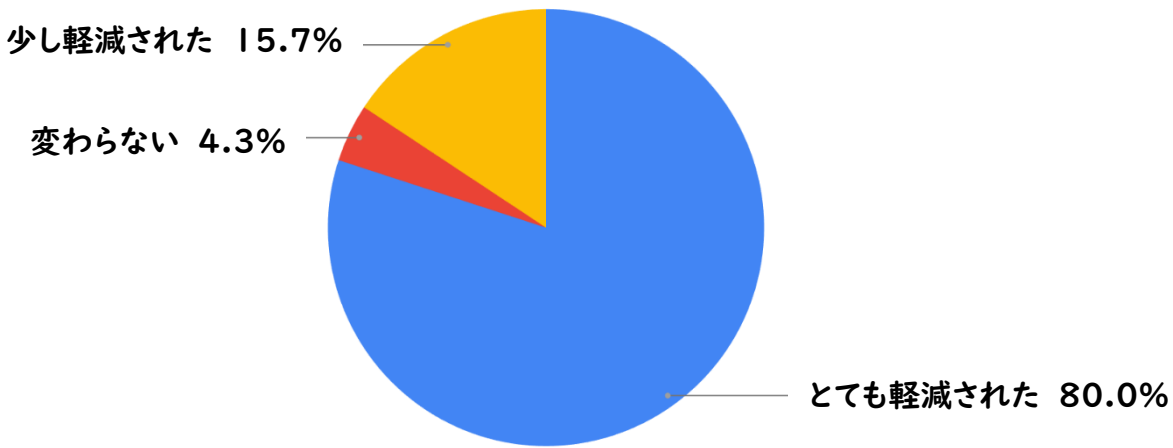
【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

・調査概要	： 採点支援システム 実施調査
・調査対象	： 探究・校務改革支援補助金2025において百問繚乱を導入した学校等教育機関における教職員
・実施時期	： 令和7年12月8日～令和8年1月4日
・調査手法	： 自社独自で設計したアンケートによるウェブ調査
・有効回答数・ 担当教科内訳	： 80 回答者の担当教科(複数担当あり) 英語17.5%、数学16.3%、理科16.3%、社会15.0%、 保健体育11.3%、国語8.8%、美術5.0%、技術家庭(家庭)3.8%、技術家庭(技術)2.5%、音楽2.5%

業務負担の軽減

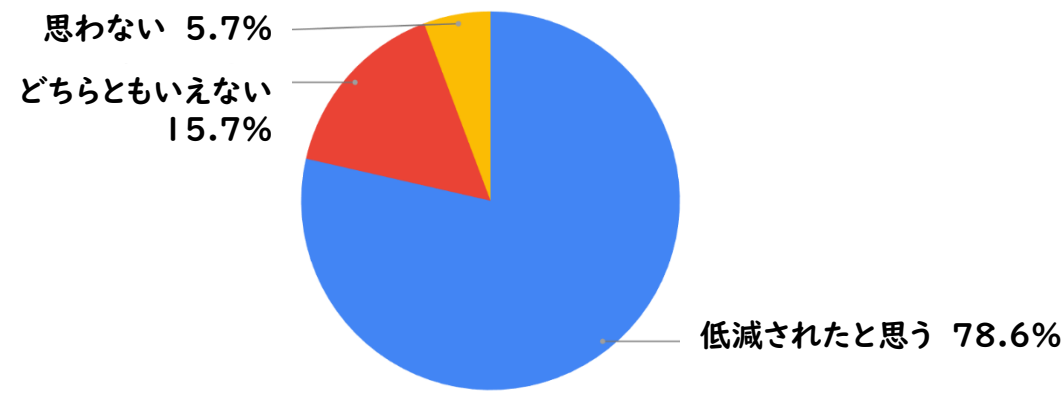
採点業務の負担は軽減しましたか。



百問繚乱の導入により、**95.7%**の先生方が「業務負担が軽減した」と回答しており、特に負担が大きい業務であることが分かります。

採点ミスの軽減

採点システムを利用して、採点・集計・転記ミスが起きる可能性は低減されたと感じますか。



78.6%の先生方が、百問繚乱の導入により採点業務の集計作業や転記ミスなどのヒューマンエラーが低減したと回答しています。



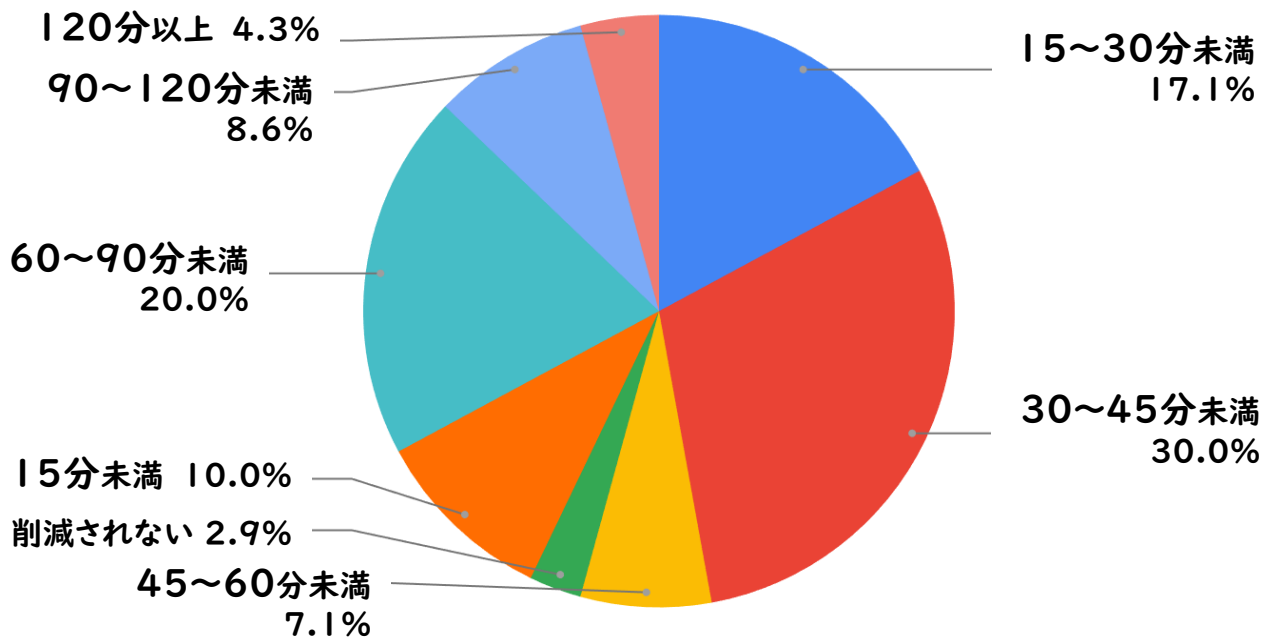
【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

- ・調査概要 : 採点支援システム 実施調査
- ・調査対象 : 探究・校務改革支援補助金2025において百問繚乱を導入した学校等教育機関における教職員
- ・実施時期 : 令和7年12月8日～令和8年1月4日
- ・調査手法 : 自社独自で設計したアンケートによるウェブ調査
- ・有効回答数・担当教科内訳 : 80 回答者の担当教科(複数担当あり) 英語17.5%、数学16.3%、理科16.3%、社会15.0%、保健体育11.3%、国語8.8%、美術5.0%、技術家庭(家庭)3.8%、技術家庭(技術)2.5%、音楽2.5%

採点作業時間の削減効果(採点～集計～転記)

ご実感として、採点作業(採点・集計・転記)にかかる時間は1クラスあたり おおよそ何分ほど削減されましたか。



1クラスあたりの採点作業時間について「30~45分程度削減された」と回答した割合が最も多く、**約3割**を占めました。

一方で、「**60~90分未満**」(20.0%)や「**90分以上**」(合計約13%)といった、**1時間以上の大幅な削減**を実感されている先生方も一定数存在することが分かります。

この結果から、本サービスは、特に採点負担の大きい現場において、採点・集計・転記業務の効率化に一定の効果を発揮していることがうかがえます。



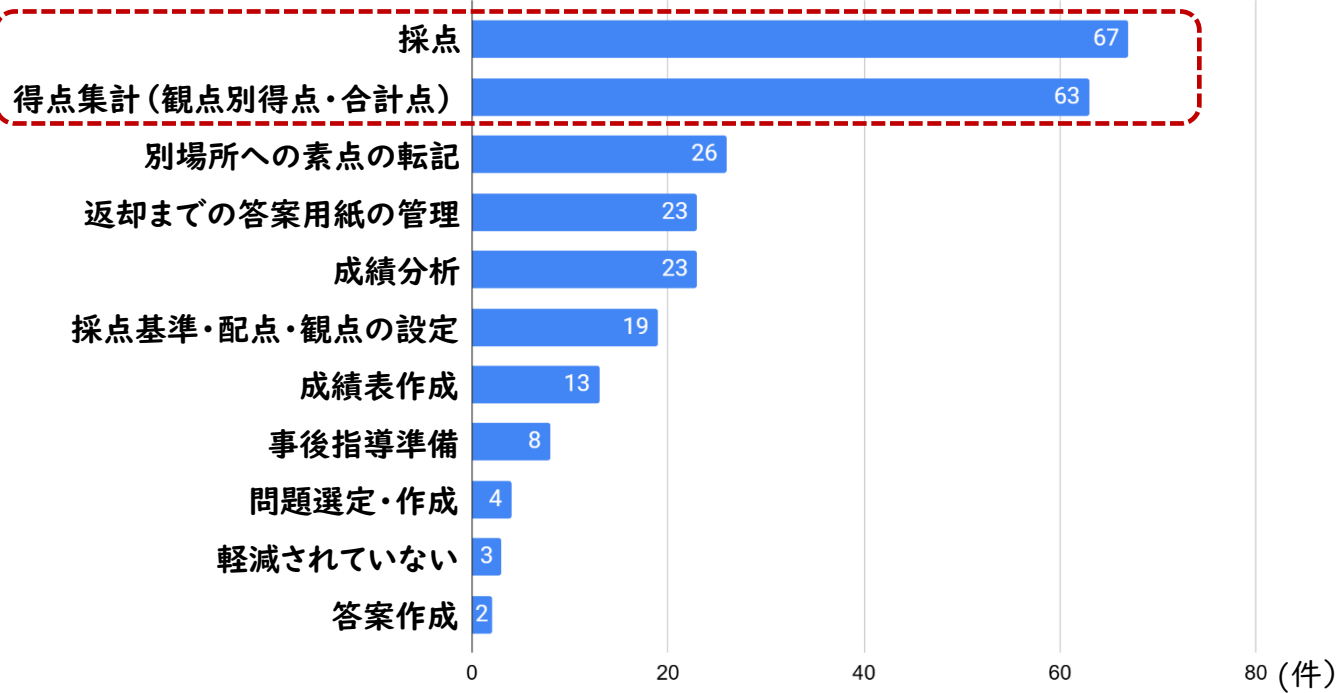
【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

- ・ 調査概要 : 採点支援システム 実施調査
- ・ 調査対象 : 探究・校務改革支援補助金2025において百問繚乱を導入した学校等教育機関における教職員
- ・ 実施時期 : 令和7年12月8日～令和8年1月4日
- ・ 調査手法 : 自社独自で設計したアンケートによるウェブ調査
- ・ 有効回答数・ 80 回答者の担当教科(複数担当あり) 英語17.5%、数学16.3%、理科16.3%、社会15.0%、担当教科内訳: 保健体育11.3%、国語8.8%、美術5.0%、技術家庭(家庭)3.8%、技術家庭(技術)2.5%、音楽2.5%

負担が軽減した業務

採点支援システムを使用して、負担が軽減された業務はどれですか。
 (複数回答可)



負担が軽減した業務は「採点」が最も多く挙げられており(67件)、次いで「得点集計(観点別得点・合計点)」(63件)と、採点および集計業務において高い負担軽減効果が確認されました。

また、「別場所への素点の転記」(26件)、「返却までの答案用紙の管理」(23件)、「成績分析」(23件)についても一定数の回答が得られました。

採点後の成績処理や管理業務においても効果が見られることから、多くの先生方が採点業務において負担軽減を実感されていることが分かります。

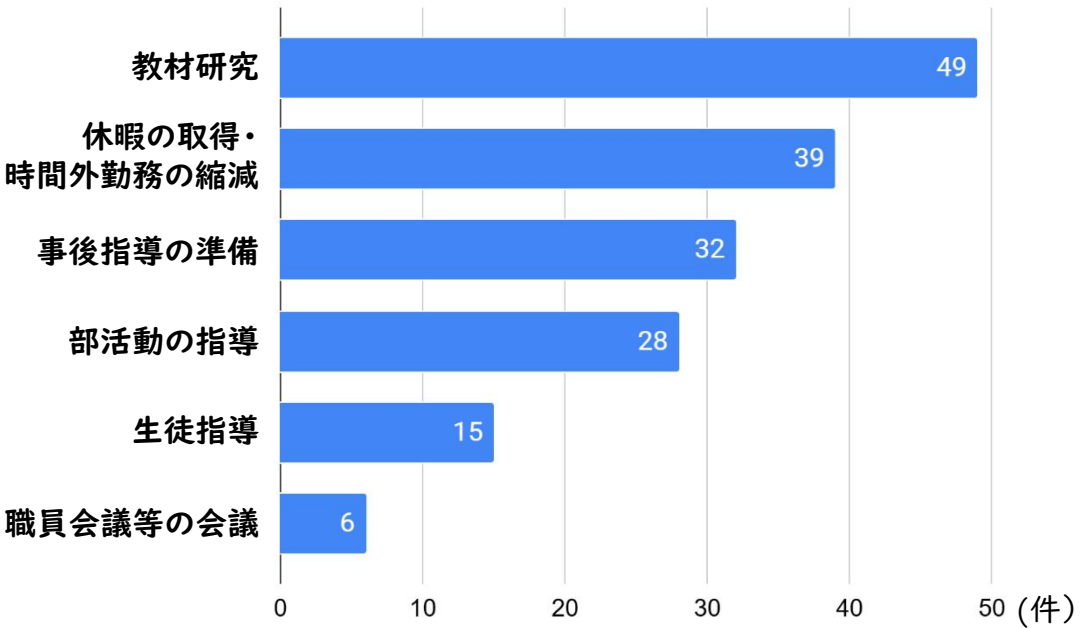
定性的効果検証

- ・調査概要 : 採点支援システム 実施調査
- ・調査対象 : 探究・校務改革支援補助金2025において百問繚乱を導入した学校等教育機関における教職員
- ・実施時期 : 令和7年12月8日～令和8年1月4日
- ・調査手法 : 自社独自で設計したアンケートによるウェブ調査
- ・有効回答数・担当教科内訳: 80 回答者の担当教科(複数担当あり) 英語17.5%、数学16.3%、理科16.3%、社会15.0%、
保健体育11.3%、国語8.8%、美術5.0%、技術家庭(家庭)3.8%、技術家庭(技術)2.5%、音楽2.5%



採点業務短縮による他業務の充実

採点システム導入によってどのような業務に時間を充てることができましたか。
(複数回答可)



採点業務の効率化により、採点・成績処理業務に費やしていた時間を、**教材研究**に充てられたという回答が最も多く見られました(49件)。

次いで、**休暇の取得や時間外勤務の縮減**(39件)、**事後指導の準備**(32件)に時間を割けるようになったという回答が続いています。

また、**部活動の指導**(28件)や**生徒指導**(15件)といった、児童生徒と直接関わる業務に時間を充てられるようになったとの声も一定数確認されました。



■ 探究・校務改革支援サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

総合的なご感想

- 今年度、最も業務効率化に繋がったと断言できるほどでした。本校の他教科の先生方や、他の学校の先生方にも有効性を広めています。とても良いので、学校としても来年度以降も継続して利用できるよう強く希望しています。
- 最初は疑心暗鬼でしたが、徐々に使用する先生が増え、**現在では7割以上が利用中**。今後は次年度予算をどこから確保するか、管理職が模索しているところです。
- 採点の**正確性や公平性、リスク管理の面でも優れており**、このシステムなしでの採点は考えられないという声があった。
- 全学年の採点を担当する中で、**睡眠時間が確保できた**と感じるほど**負担が軽減**された。

百問繚乱の採点について

- 同一問題を受験者ごとに一覧で採点できるため、**採点基準がぶれにくく、安定した評価が可能**。これまで5クラス分の採点に1週間かかっていた作業が、その日のうちに採点・返却できた。
- **学年を複数人で担当していても、設問ごとに分担して採点でき**、効率的かつ基準を統一しやすい。
- **作文問題でも**、同じ設問の解答を見比べながら採点できるため判断しやすい。
- 自動採点可能な問題は○×が付与され、目視確認のみで採点が完了。記述問題も入力操作が簡単でテンポよく進められる。事前に設定しておけば、空き時間に別の端末から採点でき、された。
- 誤答が似た解答ごとにまとまって表示され、採点ミスの防止やつまづき傾向の把握がしやすい。
- 採点・集計作業全体が効率化され、**共同採点による採点基準が統一しやすくなり**、**記述問題を増やすことができた**。

百問繚乱の集計・分析について

- これまで計算ミスの確認や集計に時間がかかっていたが、採点後に**自動で点数が集計される**ため大きな負担軽減につながった。
- 採点完了と同時に結果が**Excelデータ**として出力され、**転記作業が不要**に。生徒一人ひとりの強みや弱点を把握しやすくなった。
- **各設問の平均正答率やクラス別正答率を即座に確認**でき、苦手分野や傾向を早期に把握し、授業改善に活かされた。

百問繚乱の結果返却に関して

- Classroomでの返却も可能なため、返却作業に時間を取られず、生徒も正答率などを確認しやすくなった。
- 返却された個票をもとに、学年全体と比較しながら自分の理解度を振り返ることができるようになった。
- ○や✓の表記が統一され、答案が見やすく、生徒からも好評だった。
- 採点時間にかかる時間の短縮は、**生徒へのフィードバックの速さ**、また、他業務へ時間を割くことができ業務効率化に非常に有効だと思われる。

百問繚乱のリスク管理について

- テスト返却時の**答案の書き換えが不可能**であるため、それにかかる生徒指導業務が無くなった。
- 点数の合計、成績処理、答案をデータで残せるので安心して管理できる。**返却時の改ざんを防げる**。
- 紙媒体が少なくなり整理しやすい。紙をめくらずに済み、手作業(点数集計など)が減り採点時間が短縮でき、見直しができるようになったので、**結果、集計ミスが減った**。
- 答案を持ち運ぶ必要がなくなり**リスクが低減された**。データを成績処理に移行するときの**ミスが減った**。

操作負担や読み取り精度、印刷コスト面の課題については、研修やマニュアル動画の充実や機能活用の提案を通じ、円滑な定着と活用促進を図る。



直面した課題

- 導入当初、採点設定や答案の紐づけに時間を要するケースが見られ、先生方が多忙であるという背景もあり、**効率的な運用支援**が課題となった。
- **操作に不慣れなため現時点での活用は限定的**だが、今後は活用したいとの意向が見られた。
- 筆圧や筆記具、スキャナ性能の影響で、**正しく読み取れない**場合がある。
- スキャン後の画面上で文字の見え方に差があり、都度答案用紙を確認する場面があった。
- 紙代・インク代など**印刷に係るコスト増**への懸念があった。
- **記述式問題**の多い教科では、手作業による採点の方が運用しやすいとの認識から、本サービスを利用しないケースが見られた。

解決するための改善策

- 初期設定に特化した**オンライン研修会**を実施し、先生方の都合に合わせて確認できるよう**アーカイブ動画を提供**。あわせて視覚的に理解できる操作別の**短尺動画付き操作ガイド**を順次展開する予定。
- 基礎的な内容の研修会だけでなく、基本操作の周知や、より活用を深めたい先生向けの動画や研修会も用意し**段階的な理解を支援**する体制を整える。
- 読み取り精度については、濃度補正で調整しつつ限界がある点を共有し、「濃くはっきり書く」指導の機会として周知。答案用紙への注意書きの記載を提案。
- 紙代・印刷コスト削減策として、児童生徒タブレットで答案を返却できる「**マイページ機能**」の活用を提案。
- 記述式問題については、**スタンプ機能**の充実を図り、教科・設問特性に応じた手採点との併用もご案内。

社名	株式会社 シンプルエデュケーション
代表取締役	平田 直紀
設立年月	平成31年4月
本社	〒102-0083 東京都千代田区麴町2-1 PMO半蔵門ビル2F
資本金等	9,000千円
売上高等	非公開
従業員数	22名
事業内容	<p>公教育向けシステムの製造・販売・運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採点支援システム「百問繚乱」 ・CBTシステム「百問繚乱CBT」 <p> 百問繚乱 HYAKUMON-RYOURAN</p> <p>https://simple-edu.co.jp/ </p>

■お問い合わせ窓口



担当：(株)シンプルエデュケーション 柴田

電話：03-6380-8404

Mail: info@simple-edu.co.jp